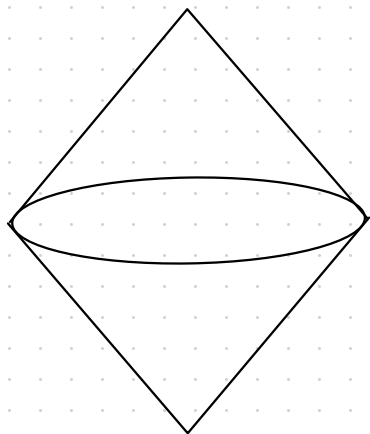


底面の半径が3cm、母線の長さが5cmである円錐を2つ用意し、2つの円錐の底面をぴったり重なると、図のような立体ができた。このとき、できた立体の表面積を求めよ。



表は、あるサッカーチームが1年間に行ったそれぞれの試合の得点を調べ、その結果を度数分布表に整理したものである。このとき、次の(ア)~(ウ)を、値の小さいものから順に並びかえ、記号で書け。

(ア) 得点の平均値

(イ) 得点の中央値

(ウ) 得点の最頻値

得点(点)	度数(試合)
0	14
1	13
2	12
3	2
4	1
計	42